

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成27年 3月31日 提出

1. 視察概要

会派名	日本共産党大崎市議会議員団
視察者名	小沢和悦、鎌内つぎ子、木内知子、遊佐辰雄
視察日	平成26年6月2日
視察先	1. 宮城県登米市
出席者	

2. 視察内容

視察項目	1. 登米市における公共交通体系について
視察内容	<p>1. 徹底した市民のための行き届いた低額(または無料)の公共交通体系 合併後、路線バスがあいついで撤退。平成17年10月、一部の路線バスを市民バスに切り替え「登米市民バス」として試験運行。その後、見直しやダイヤ改正を行い、平成19年から市内全域の市民バスを本格運行。</p> <p>(1) 運行している交通手段(市民バス、住民バス、デマンド型乗合タクシー)</p> <p>①「市民バス」 9路線(循環路線2ルート、単線7ルート)。通学・通勤・通院などで利用できるように近隣の高校や駅まで運行。料金は1回100円。但し、小学生以下、身障手帳、療育手帳は無料。65歳以上の免許返納者で無料乗車券提示者は無料(1年間)</p> <p>②「住民バス」 市民バスのコースから外れている地域を運行。小学校のスクールバス等の空き時間を異活用した住民バスは無料で乗車。運行管理、時刻表は各総合支所が行っている。予算は年間分を教育委員会で契約・支払っている。 ※小学校で校外学習などでバスを使うときは市役所・支所で持っている研修用バスを利用</p> <p>③「デマンド型乗合タクシー」 利用登録料 1世帯年間3,000円。電話予約は利用の30分前まで。利用料金は登録者300円、未登録者600円、子供100円(小学生未満は無料。親同伴)</p> <p>(2) 利用者数と市民の評価</p> <p>①平成25年度実績(約40万人) 市民バス 341,881人(大人266,117人、子供9,824人、障害者等65,940人) 住民バス 約50,000人</p> <p>②市民の評価と要望 3年に1回まちづくり市民意識調査を実施。満足度は増加傾向。 休日運行の増便、新幹線栗駒高原駅との接続の要望が多い。</p> <p>(3) 決算状況(平成25年度) 収入: 運賃収入26,611千円、県補助金3,400千円程度、特別交付税(運営赤字分の約8割が見られる) 支出: 市民バス運行委託料118,000千円 市からの持ち出し 20,000千円~30,000千円(担当職員1名の給与等は除く)</p> <p>(4)「大崎市との差が、なぜこんなに大きいのか」の質問への回答 大崎市はJR路線、路線バス、タクシー業者とタクシー台数が登米市よりはるかに多いので、遠慮して登米市のようにはできないのでしょう、とのこと。 財政的には約8割を特別交付税で見てもらえるのに、大崎市はなぜ?という疑問。 大崎市は、利便性はだいぶ低いのが、理由が業者に遠慮してのことだとしたら間違っているように思えてならない。運送業者の協力をいただいて登米市のように行き届いた公共交通を構築することこそ必要なのではないか、と強く感じる視察でした。</p>
他会派との 合同実施	・無

以上

会派広報広聴活動報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成27年 3月31日 提出

1. 活動概要

会派名	日本共産党大崎市議会議員団
会員名	小沢和悦、鎌内つぎ子、木内知子、遊佐辰雄
活動項目	(1)議会報告ビラの作成・配布

2. 活動内容

摘 要	(1)議会報告ビラの作成・配布 ① 平成 26 年第2回定例会の議会報告ビラ(B4版2色刷 2ページ)を 21,550 枚作成し配布した。 ② 平成 26 年第3回定例会の議会報告ビラ(B4版2色刷 2ページ)を 20,260 枚作成し配布した。(新聞折り込み) ③ 平成 26 年第4回定例会の議会報告ビラ(B4版2色刷 2ページ)を 20,240 枚作成し配布した。 ④ 平成 27 年第 1 回定例会の議会報告ビラ(B4版2色刷 2ページ)を 35,650 枚作成し配布した。(新聞折り込み)
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------